

地域の老人クラブの方々との触れあい

～焼き芋会・ゲートボール体験～

1. 目的と経緯

本保育所では、老人クラブの皆様と30年以上にわたり継続的な交流を実施しています。高齢者との関わりを通して、子どもたちが人を思いやる気持ちや社会性を育み、地域への親しみや感謝の気持ちを養うことを目的としています。その取り組みの一つとして、老人クラブの皆様を焼き芋会に招待し世代を超えた交流の機会としています。



2. 内容

地域との連携活動として、焼き芋会に老人クラブの皆様を招待し、焼き芋会に参加していただきました。炭の準備や火おこしなどをお手伝いしていただき、子どもたちは見守られながら安心して活動に参加することができました。また、焼き芋ができるまでの時間を活用し、近隣の施設・ゲートボール場へ移動し、ゲートボールのルールや道具の使い方を教えていただきながら、実際に体験をすることで交流を深めました。その後、保育所に戻り、焼き芋や給食と一緒に食べたり、子どもたちが歌の披露をしたりするなど和やかな雰囲気の中で交流を楽しみました。



3. 成果と課題

交流を通して、子どもたちは地域の方々への親しみを感じ、感謝の気持ちを持つとともに、人と関わる楽しさや思いやりの心を育む貴重な機会となりました。一方で、参加される高齢者の体調や状況に配慮し、無理のない活動内容や進め方を工夫していくこと、また、地域との連携を継続していくための情報共有が課題です。今後は、世代間交流への理解がさらに深まるよう交流内容の工夫しながら、地域に根差した無理のない交流活動として、継続と充実を図っていきたいと考えています。

